

# 霞

— 2022年度 博物館だより —

土浦市立博物館  
令和4年10月1日発行(番外第4号)

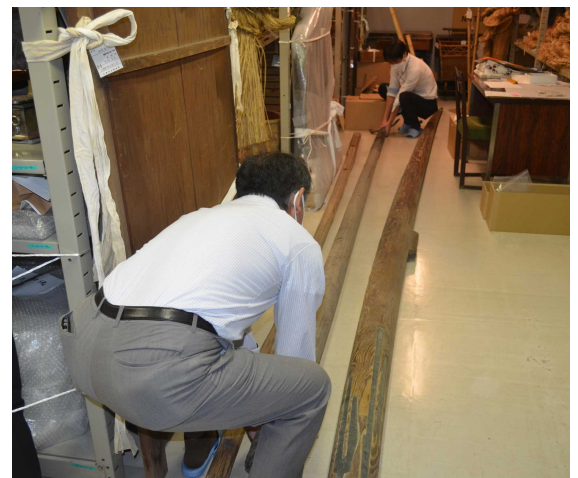
土浦市立博物館は、大規模改修工事のため、令和4年7月5日(火)から令和6年1月上旬(予定)まで休館いたします。博物館だより「霞(かすみ) 番外」では、毎月、工事の進捗状況や館外で開催する展覧会や講座の情報をお伝えします。休館中の「おうちミュージアム」(解説動画)では、土浦市内の史跡や文化財などの見どころを紹介いたします。

## 博物館は休館中！(4)「大型資料の<sup>くんじょう</sup>燻蒸を行いました」

改修工事に支障がないよう、大型資料の一部を収蔵庫内へ移動しました。収蔵庫内への搬入にあたり、庫内の環境を維持するための殺虫・殺菌処理(燻蒸)を実施しました。



大型資料の燻蒸



収蔵庫への資料の搬入

## ◆博物館からのお知らせ

### ○館長講座「館長が語る歴史物語」(全3回)

当館館長系賀茂男が、鎌倉幕府成立から南北朝内乱期までの、中世桜川流域の歴史についてお話しします。

第1回 12月7日(水):「鎌倉殿」と常陸武家(八田氏・小田氏・真壁氏)

第2回 12月14日(水):常陸武家の拠点(「堀之内」体制)

第3回 12月21日(水):南北朝内乱期の常陸武家

時間 午前10時～正午 ※途中で10分程度の休憩をはさみます。

会場 土浦市生涯学習館 研修室1・2 (土浦市文京町9-2)

受講料 300円(3回分の資料代)

定員 80名(申込多数の場合は抽選になります)

申込方法 往復はがきに郵便番号・住所・氏名・電話番号を明記し、〒300-0043

土浦市中央二丁目16-4 亀城プラザ内 博物館「館長講座」係まで送付してください。

申込期限 10月28日(金) 当日消印有効

問い合わせ先 土浦市立博物館(Tel 029-824-2928)

※博物館は、大規模改修工事のため休館中です。開催場所・申込先が博物館と異なりますので、ご注意ください。



# 不動院と驚神社の力石

—若者たちの力自慢—

前号（「霞」番外第3号）でご紹介した「退筆塚」（中央一丁目）のすぐ近くに、「不動院力石」（土浦市指定文化財）があります。力石とはその名の通り、若者たちが力試しに用いた石のことです。人々が集まる神社境内などで、大きな楕円形をした石を持ち上げたり、巨石を抱き起こしたりして力を競い合いました。力石には重さや、石を寄付した人の名前などが刻まれているものもあります。

不動院の境内には、写真のように2つの力石が並んでいます（写真1）。石材はいずれも安山岩です。左側①の大きさは69×45×30cmで、銘文から土浦城下の川口町の「次蔵」という人が奉納したことが分かります。重さは「六十貫目」と刻まれています。1貫分の目方は約3.75kgですので、60貫目は約225kgになります。「五助持之（五助、之を持つ）」と刻まれていますので、五助という人物がこれを持ち上げたと解釈できるでしょう。驚きの力持ちです。

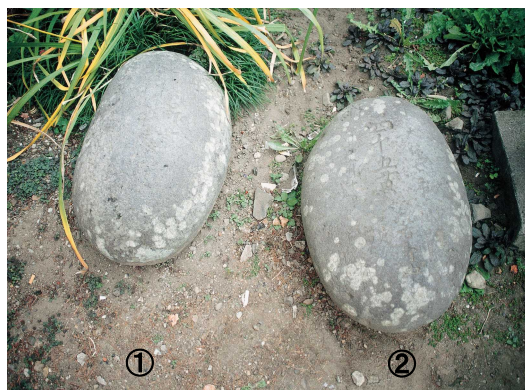


写真1 不動院力石（土浦市指定文化財）

右側②は64.5×43×30cmを測り、川口町の若者たちが天保7（1836）年1月10日に奉納したものです。他に奉納者として願主の牛堀屋、世話人の和田屋定右衛門の名がみえます。重さは「四十五貫目」で約168.75kgになります。「勘七 持之」との刻銘から、勘七が持ち上げたのでしょう。



写真2 驚神社力石（土浦市指定文化財）

旧土浦城下ではこのほかに驚神社（現東崎町）や水天宮（現川口2丁目）にも力石が現存しています（写真2）。このうち驚神社の力石は3つあって、いずれも文化9（1812）年のものです。そのうち1つには重さが刻まれていて、「六十貫余」と読めますので不動院のものより少し重たいようです。3つの石には、清蔵と吉兵衛というふたりの人物の名が刻まれていました。また、うち2つには彼らの年齢が21歳であることが付されていました。このふたりの若者は、競い合って力石を担ぎ上げていたのでしょうか。

かつての農村では米俵、山村では材木、マチ場でも醤油樽や油樽などを運搬するため、一定の重量物を担ぐことができなければ一人前とみなされない時代がありました。不動院や驚神社の境内で力自慢をした若者たちを激励し、喝采を送っていた土浦城下の人々の姿が想像されます。（萩谷良太）

※力石は文化財です。持ち上げたり動かしたりしないでご見学ください。



左のQRコードから解説動画のウェブページへアクセスできます。

霞（かすみ） 2022年度 博物館だより（番外第4号）

編集・発行 土浦市立博物館 茨城県土浦市中央1-15-18  
TEL 029-824-2928 FAX 029-824-9423  
<http://www.city.tsuchiura.lg.jp/page/dir000378.html>

博物館だより「霞」番外第5号の刊行は、11月1日（火）を予定しています。

※「霞」バックナンバーは、当館ホームページからもご覧になれます。（カラー版）